

平成 18 年 8 月 9 日
特定非営利活動法人 I T コーディネータ協会
ITC Conference 2006 実行小委員会

I T C Conference2006 特別企画 「I T Cによる大田区企業への支援実践」参加者募集のお知らせ

2006 年 10 月 13 日（金）～14 日（土）に開催します ITC Conference 2006 では、特別企画として、モノづくり企業の「事業継続」に関する「ワークショップ」を予定しております。

2005 年度のカンファレンス特別企画で「モノづくり応援隊 in 大田区」が結成され、大田区企業数社に支援活動を実践し、現在も応援隊の活動は継続しております。

今年度は上記応援隊活動の一環として、モノづくり企業の重要な経営課題である「事業継続」について大田区モノづくり企業と関連する支援団体が参加して、解決へのヒントを探る為の「ワークショップ」をカンファレンス会場で実施致します。

本企画に参加された I T コーディネータには「ワークショップ」でのファシリテーションサポートを担当して頂きますが、その後の企業支援実践にも参加して頂きます。 つきましては、支援実践プロジェクトを結成したく、構成員である「実践プロジェクト委員」の募集を致します。

以下にその募集要項を提示いたしますので、本大会をより有意義なものとする熱い意欲のある皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

1. ITC Conference2006 大田区実践プロジェクト委員の役割と担当概要

(1) 「ITC による大田区企業への支援実践企画」の趣旨と概要

昨年度カンファレンスの特別企画で実施した「モノづくり応援隊 in 大田区」の活動は大田区企業数社への支援を実施し、カンファレンスでの紹介と以降のフォロー、大田区工業フェアへの参加（小冊子での紹介）など継続して実施しております。

その活動の中で感じたこととして

- ・ユニークな技術を持ち経営者の意識レベルの高い企業が多い
- ・小規模なための経営基盤が弱い、特に将来に対する人的資源がほとんど無い
- ・多くの異業種交流グループが存在するが、グループ同士の交流や、外部との交流が少ない（やや閉鎖的）
- ・世代交代や、技術者の高齢化などの環境変化に対し、自力で解決出来ない状況があります。経営強化を考えると、最も重要な「人的資源」に対し、希望のもてる環境作りが急務であると認識しております。

これらの課題は日本全体の製造業に共通的な課題であり、国を初めとした行政機関が各種対策を推進しているところですが、大変困難な課題であり企業自身の努力も重要です。

I Tコーディネータの支援活動に於いても必ず出てくる課題で、それを無視しての支援はあり得ません。

一気に抜本的な解決までは期待できませんが、経営者並びに製造業を支援する立場にある方が共通の課題認識と目的認識をし、それぞれの工夫やその結果の情報交換をすることにより経営者や支援されている方がそれぞれの企業・立場での取り組みへのヒント、気づきが得られな
いか?と考えます。

そこで、大田区のモノづくり企業の経営者とそのような企業を支援する多方面の方に参加して頂き、「事業継続」をコンセプトに「ワークショップ」を企画しております。

<ワークショップ企画概要>

1. 目的 (コンセプト)

大田区モノづくり企業の「事業継続」に関して経営者と支援する立場の方に課題共有と解決へのヒントを得て頂く

2. ワorkshop概要

1) テーマ設定：参加者により当日修正あることも前提とします

「明るく元気で楽しいモノづくりの会社を創る」

2) 参加者

- ・大田区製造業経営者 (約10名)
- ・支援する立場の方 (行政、研究所、学校、金融機関、有識者、I T C等で約10名)
- ・ファシリテータ (リーダ3名、補助者6名：I Tコーディネータ)

3) 開催場所・・・大田区産業プラザ (蒲田) の会議室

4) 開催時間帯・・・2006年10月14日 (土) 11:00~18:00

5) 推進方法

- ・事前に2回程度内容認識のミーティングを予定します
- ・当日は3グループに分けて運営致します

このプロジェクトは、イベントに向けての1次的なものでなく、「モノづくり応援隊 in 大田区」の活動として1年後2年後を見据えた形で計画すると共に、カンファレンスをきっかけとして大田区の経営者及び関連の支援者とI T Cが交流することを通じて具体的な経営課題の把握と対策を検討し、将来につながる活動として拡充していきたいと考えております。

10月のカンファレンスにむけては、「ワークショップ」の準備を行い、それ以降は条件が合えば「モノづくり応援隊 in 大田区」の活動として参加企業への支援活動を実施して頂きます。

(2) 活動期間、内容

主活動期間・・・2006年8月中旬～ITCカンファレンス2006まで

継続活動期間・・・カンファレンス終了後はワークショップのまとめや企業フォローとして

2007年3月末までメンバーとして活動して頂きます

※カンファレンス以降、企業の要望があり条件が合意できれば支援活動実施

カンファレンス開催日（2日間終日）

2006年10月13日（金）・・・カンファレンス運営支援

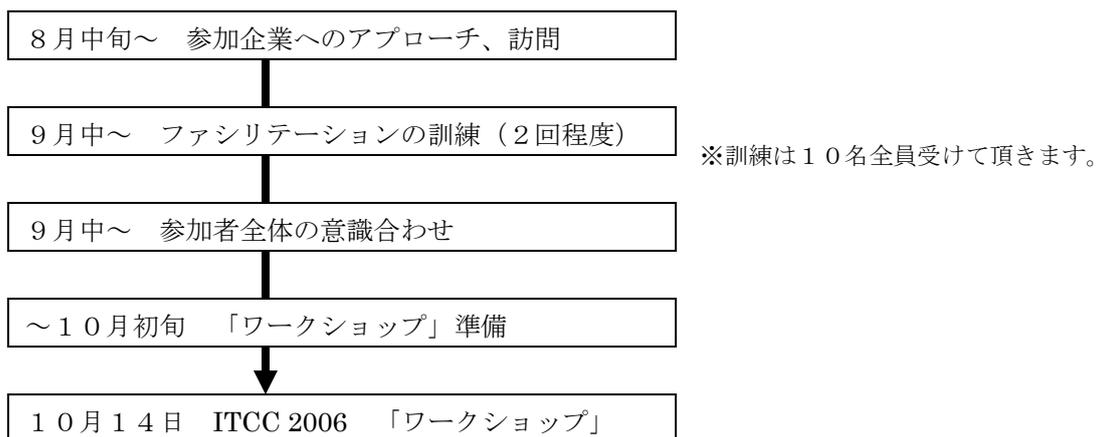
14日（土）・・・ワークショップ支援（参加）

会場・・・大田区産業プラザ（蒲田）

(3) 実践プロジェクト委員の役割とスケジュール

実践プロジェクト委員の方の主務は「ワークショップ」でのファシリテーションサポートですが、参加依頼や各種準備活動を、本企画推進の実行委員の皆さんと協同で活動して頂きます。

【カンファレンスまでの主な作業の流れ】



2. 募集の対象者

募集の対象者は以下の（1）～（4）の要件をいずれも満たす方です。

- (1) ITコーディネータ資格保有者
- (2) プロジェクト期間中、大田区関係先に直接、数回の訪問が可能な方
- (3) ファシリテータ訓練（半日／回で2回実施：無料です）
- (4) カンファレンス当日（10／14）ワークショップ（終日）に参加できる人

3. ITC Conference2006 実践プロジェクト委員としての活動に関わる特典

ITC Conference 2006 実践プロジェクト委員は、以下の特典を利用することができます。ただし、特典を利用しようとする方は、所定の研修活動に関わる行動記録をITコーディネータ協会に提出することが必要となります。

表1 ITC Conference 2006 実践プロジェクト委員の特典

対象者	ITコーディネータ資格保持者
特典	本プロジェクト活動の実時間を協会委員会活動として資格更新条件のポイント対象時間とすることができる。 ITC Conference 2006 の2日間、無料受講することが出来る。(知識ポイント16時間相当)
特典の付与年度	平成18年度

4. ITC Conference2006 実践プロジェクト委員としての活動に係わる経費等の取り扱い

- (1) ITC Conference 2006 実践プロジェクト委員の活動は、基本的にボランティア活動とし、プロジェクトでの活動に対する人件費等の経費をITコーディネータ協会が負担することはありません。ただし、調査等、活動に特別な経費が発生する場合は、都度教会にご連絡戴きITコーディネータ協会が経費の負担を行うか否かの検討を行います。
- (2) プロジェクトあるいはITコーディネータ協会の依頼により宿泊、出張を伴う場合、ITコーディネータ協会の旅費規程に基づき経費を支給いたします。
- (3) 本プロジェクトに参加される方は「ITC Conference 2006 実践プロジェクト運用規定」を遵守(同意)して頂きます。

5. ITC Conference2006 実践プロジェクト委員募集への申込みと決定

募集期間：8/11(金)15:00～8/17(木)17:00まで
 選考結果通知：8/18 予定
 活動説明会：8/22 予定()
 活動開始：8/23～予定

6. 募集人数

募集区分	募集人数
ITC Conference 2006 実践プロジェクト委員	10名程度

※応募者多数の場合は、経験・応募動機等をもとに選考いたします。

7. 申込み方法および問合せ先

本募集要項をお読み戴き、今回の募集に申し込みを希望される方は、参加申込書をホームページからダウンロードし、必要事項をご記入の上メールに添付してお送り下さい。(メールのあて先は申込書に記載しております。)

☆ お問い合わせ ☆
 「ITCカンファレンス開催事務局」
 (前田(幸))
 TEL: 03-5733-8380 FAX: 03-5733-8388
 Mail: ホームページより「お問い合わせ窓口」を参照下さい